

爲了促使台灣的日語學習更朝向「知日」的方向邁進，臺灣大學日本研究中心與大新書局合作編輯的教材《台湾から見た日本事情》，以台日比較的視野，針對生活、地理、歷史、宗教、思想、語言、文化、政治、經濟、產業以及交通等各個角度，帶領本教材的使用者，從台灣的角度來接觸、認識、理解日本社會、文化的各種情事。

本教材依主題之關聯性，共分四冊，第三冊以「地理・歴史・宗教・思想」主題，分成十二課來介紹、比較台日雙方的語言和文化等相關內容。透過本教材，讀者不僅能培養、提升日語能力，更能促進對日本各方面的理解。期許本教材的付梓，能對讀者的日語學習，以及對日本的認知有所助益。◆

日本語學習者により「日本を知ってもらえる」ように、台湾の大新書局から本学日本研究センターに共同で台湾から日本を見る・知るという視点で教科書を作ろうと声をかけ、様々な観点(生活・地理・歴史・宗教・思想・言語・文化・社会・政治・経済・産業・交通など)から日本を見て紹介する教科書『台湾から見た日本事情』を出版する運びとなった。

本教科書はテーマの関連性から4冊に分かれている。第3冊目は「地理・歴史・宗教・思想」をテーマとし、計12課という構成となっている。言語知識を向上させるだけでなく、台湾から日本を見て、知って、根底まで理解し、台湾と比較するという新しいタイプの教材でもある。このような試みが日本語學習者にとって有益なものとなり、また日本と台湾への理解にもつながるものになればと、心から願っている。◆

台湾から見た日本事情 [地理・歴史・宗教・思想編]

臺灣大學日本研究中心／企劃・徐興慶／監修・林立萍／主編

北川修一、李偉煌、林淑丹、徐興慶、張桂娥、彭春陽、曾秋桂、橫路啓子、鄧美華、蘇克保／著



第一課 自然と気候

第七課 神道と仏教

第二課 人口・都市

第八課 現代宗教事情

第三課 伝統工芸

第九課 思想

第四課 歴史 (古代～近世)

第十課 日本古典文学を台湾に紹介した人々

第五課 歴史 (近代)

第十一課 台湾人にとっての日本近現代文学

第六課 歴史 (現代史 1945～)

第十二課 日本論